

## 英検に合格してしまおう

開倫塾 塾長 林 明夫

## 1. はじめに

開倫塾では、その教育目標に「高い国際理解」を掲げ、「実際に役立つ英語力を身につけること」を塾全体の目標にしています。

社会に出てからも役に立つ英語学習のよいきっかけをつくるために、「実用英語検定合格」を塾中で押し進めています。

それで、今回の開倫塾の時間では、どうしたら、「実用英語検定」(英検)に合格できるかを考えます。

## 2. この秋から冬にかけて、自分の実力よりちょっと上の「英検」に合格してしまおう

①(i)この4月から英語の勉強を始めた小学生と中学1年生全員は、英検5級合格を目指そう。

(チャンスは10月と1月の2回)

(ii)中学2年生は、英検4級合格を目指そう。(チャンスは10月と1月の2回)

(iii)中学3年生は、英検3級合格を目指そう。(チャンスは10月だけの1回)

(iv)高校生は、準2級か2級合格を目指そう。(チャンスは10月だけの1回)

(v)英語が大好きでよく勉強している皆さんは、すでに今述べた学年であるにもかかわらず、その級に合格してしまった方もおられると思います。その方は、さらに上の級にチャレンジしてください。

\*英語の勉強に遠慮は一切ありません。小学生や中学1・2年生でも5級→4級→3級→準2級→2級とどんどん先の級に挑戦してよいのです。

②英検の勉強は1ヶ月以上してください。その間にやることは次の通りです。

(i)開倫塾で配られたテキストや問題集をすべて、ていねいにやってみる。

(ii)できなかった問題の記号の上に赤で印をつけ、そこを何回でもやってみる。

(iii)テキストや問題集をやってみて、よく意味のわからない単語や語句があったら辞書で調べる。

書けそうな単語や語句があったら、1回分の勉強が終了した後、徹底的に書く練習をする。

(iv)「書いてはじめて点になる」と思うくらい書く練習をする。できれば、大事な文章は、日本語を見て、英語が書けるまでにする。(そのために一冊暗記用のノートを用意して、左ページに日本語、右ページにその英語を書いておく。はじめは、日本語を見て「空」で英語がスラスラロをついて出るまでにする。次に、日本語を見て英語が書けるまでにする。ここまで練習すれば、英検にはもちろん合格し、一生使える英語の基礎ができる。)

③開倫塾でわたしたテキストと問題集を試験直前まで毎日手に持ち、すみからすみまで覚えると合格が不動のものになります。

### 3. おわりに

英検合格に頭のよい悪いは一切関係がないことは、私立中学入試・高校入試・大学入試と全く同様です。「やるべきことをある一定以上の時間をかけてやったか、やらないか」だけのことです。よく勉強した人は合格するし、勉強の足りない人は合格しただけです。

開倫塾では、全塾生が希望の級に合格するよう全力を傾けて指導いたしますので、塾生の皆さんもがんばってついてきてください。

やれば必ず合格するのが英検です。